

情報セキュリティ啓発キャラバン

インターネット安全教室

実施報告書

2005年3月

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会



## 1. 概要

誰でも手軽にインターネットに接続できるようになった今日、ウイルス感染、詐欺行為、プライバシー侵害など情報犯罪の被害にあう危険性がますます高くなってきている。いかに技術が進歩しても、ひとりひとりの意識の向上、モラルの徹底がなければ、情報犯罪を防ぐことはできない。こうした状況をふまえ、家庭や学校からインターネットにアクセスする人々を対象に、どうすればインターネットを安全快適に使うことができるか、被害にあったときにはどうすればよいかなど、情報セキュリティに関する基礎知識を学習できるセミナー「インターネット安全教室」を開催した。この「インターネット安全教室」は、全国28カ所の自治体・団体にご協力いただき、その他、警察庁、各地県警、放送局・新聞社・教育機関等の後援を得て、2004年10月～2005年3月にかけて開催した。

期間 2004年10月～2005年3月

開催地 全国28カ所

主催 経済産業省

NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

後援 警察庁、その他

### 共催ならびに実施場所

日程	県名	共催者	開催場所
10月7日(水)	島根県	財団法人しまね産業振興財団	くにびきメッセ
10月16日(土)	東京都	足立区立扇中学 PTA、 足立区立奥本小学校 PTA	足立区立奥本小学校 体育館
10月22日(金)	兵庫県	兵庫県、 兵庫ニューメディア推進協議会	兵庫県私学会館
10月30日(土)	奈良県	なら情報セキュリティ研究会	帝塚山大学
11月2日(火)	神奈川県	横須賀市	横須賀市役所正庁
11月6日(土)	神奈川県	厚木市、 NPO 情報セキュリティフォーラム	厚木市ヤングコミュニ ケーションセンタ ー
	愛知県	NPO 東海インターネット協議会	名古屋市公会堂
11月7日(日)	大分県	財団法人ハイパーネットワーク社会研 究所	大分県芸術文化短期 大学
11月9日(火)	福井県	福井県高度情報化推進協議会	小浜市働く婦人の家
11月17日(水)	岐阜県	岐阜県消費生活センター、マルチメディ ア&VRメッセぎふ実行委員会	ソフトピアジャパン
11月19日(金)	和歌山県	NPO 情報セキュリティ研究所	わかやま館
11月20日(土)	大阪府	総合学園ヒューマンアカデミー	ヒューマンアカデミ ー大阪校
	神奈川県	NPO 情報セキュリティフォーラム	岩崎学園
11月23日(火)	沖縄県	浦添市	浦添市社会福祉セン ター
11月27日(土)	岡山県	岡山市連合町内会 IT 専門委員会、岡 山市電子町内会連絡協議会、岡山市、 株式会社エス・シー・ラボ	ほっとプラザ大供
12月10日(金)	青森県	財団法人八戸地域高度技術振興センタ ー	八戸インテリジェン トプラザ
12月18日(土)	北海道	NPO くるくるネット	室蘭工業大学
	新潟県	財団法人にいがた産業創造機構、 NPO 新潟情報セキュリティ協会	NICO プラザ
1月18日(火)	栃木県	NPO 栃木県シニアセンター	栃木県自治研修所

日程	県名	共催者	開催場所
1月25日(火)	佐賀県	NetCom さが推進協議会	アバンセホール
1月29日(土)	大分県	ひたインターネット協議会、 財団法人ハイパーネットワーク社会研 究所	日田市中央公民館ホ ール
2月4日(金)	神奈川県	藤沢市	藤沢市役所防災セン ター
2月8日(火)	高知県	社団法人高知県情報産業協会	高知県工業技術セン ター
2月19日(土)	神奈川県	小田原市、 NPO 情報セキュリティフォーラム	小田原市保健センタ ー
2月22日(火)	大阪府	大阪市 PTA 協議会	中央区民センター
2月26日(土)	熊本県	NPO 熊本県次世代通信推進機構	熊本市総合女性セン ター
3月6日(日)	千葉県	NPO 幕張メディアアソシエイツ	幕張ベイタウン・コア
3月25日(金)	愛媛県	愛媛県 IT 推進協会	松山市男女共同参画 センター(コムズ)

## 2. プログラム内容

プログラムは2時間構成で、前半は2003年度に制作したCD-ROM映像「インターネット安全教室」(約20分)の上映とそれに関する講師解説、後半は警察の方の解説「犯罪の被害にあわないために」と実機4台を使った体験学習、質疑応答であった。参加者全員に、今回上映したCD-ROM(解説冊子付き)と、ノベルティとして紙製ボールペンとモバイルクリーナーを配布した。

解説冊子については、本文の補足説明と最新の事象を取り入れたQ&A集を追加した改訂版を配布した。

### CD-ROM映像(約20分)

CD-ROM映像では、下記の6つのテーマに分けて作成した。メールについてはウイルス感染メールだけでなく、今問題になっている債権回収督促メールについても触れ、その他、無線LANを使用している際の傍受やインターネットショッピング・オークションを楽しむ場合の注意点などもわかりやすく映像で解説している。

- 1.危険なメールとホームページ
- 2.個人情報の漏えい
- 3.しのびよる詐欺行為
- 4.掲示板、チャットのマナー
- 5.侵入されるパソコン
- 6.ホームページ作成の落とし穴

### 講師解説(約30分)

CD-ROMの内容に基づいて、JNSA講師による、より詳しい解説を行なう。

### 警察講話(約20分)

各地の県警担当者または警察庁担当者による、「犯罪にあわないために」というテーマで解説を行なう。

### 体験学習(約20分)

セミナー内容の復習を10問100点満点のクイズ形式で実施。

会場内で募った希望者は、会場に準備してあるパソコンを利用して回答し、その他のセミナー参加者はプログラム裏面に印刷されている回答用紙に記入する形で参加。

### 質疑応答(約10分)

会場から質問を募り、JNSA講師・警察担当者らが回答する。

### 3.開催内容の詳細

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	島根県 松江市	日 時	2004年10月7日(木) 18:30～20:30(開場 18:00)
		会 場	島根県立産業交流会館 くにびきメッセ501会議室 ：松江市学園南1-2-1
		定 員	100名
共催者	財団法人しまね産業振興財団		
後援	無し		
講師	JNSA 事務局長 下村正洋		
<b>参加者数</b>			
	78名(一般)		
総勢参加者	92名(来賓、県警含む)		
			
<b>来場者の特徴</b>			
<p>30代、50代、60代が各20名前後、40代が30名弱と世代的に偏りの少ない構成であった。世代別分布状況や質問内容から、参加者の多くが仕事の上でインターネットを利用している人たちだと思われる。これは、参加者募集を、共催者であるしまね産業振興財団がその構成会員企業を中心に行ったためと、同財団は説明している。</p>			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	東京都 足立区	日 時	2004年10月16日(土) 13:30-15:30(開場 13:00)
		会 場	足立区立興本小学校 体育館 : 足立区扇 3-22-1
		定 員	150名
共催者	足立区立興本小学校 P T A、足立区立扇中学校 P T A		
後援	警察庁、足立区教育委員会		
講師	JNSA 技術部会 渡部章		

### 参加者数

93名(一般), 10名(来賓), 10名(スタッフ)

### 総勢参加者

113名(来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

小・中学校保護者が全体の5割強、小学児童・中学生が1割強と本安全教室共催関係者が過半を占めたほか、開催をWEBページやポスターで知った一般参加者も3割に達した。参加者の中心となったのは、小学児童・中学生の保護者である30代から40代の年齢層が多数を占めた。また、子供達が参加した点が、これまでの安全教室でみられなかった特徴といえる。今回は、共催者PTAによる父兄を対象とする、家庭内インターネット利用状況やインターネットに対する意識に関するアンケート調査が行われ、本安全教室参加への関心が高められた。

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	兵庫県 神戸市	日 時	2004年10月22日(金) 13:30～15:30(開場 13:00)
		会 場	兵庫県私学会館 4F 大ホール : 神戸市中央区北長狭通 4-3-13
		定 員	150名
共催者	兵庫県、兵庫ニューメディア推進協議会		
後援	警察庁、兵庫県警察本部、兵庫県教育委員会、神戸新聞社、 サンテレビジョン、ひょうごe-スクールコンソーシアム		
講師	JNSA 技術部会 渡部章		

### 参加者数

130名(一般)

### 総勢参加者

141名(その他スタッフ、来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

最小年齢は23歳女性、最高年齢は78歳の男性と幅広い層となった。その中で、参加者の中心は、50代～60代の男性で、その世代からの積極的な質問もあった。質問の内容は、より具体的でそのレベルは高いように思われた。これは、ひょうごe-スクールコンソーシアムが後援となったことで、パソコンスクールなどを主宰する教育関係者が10名程度含まれたためと共催者は説明している。

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	奈良県 奈良市	日 時	2004年10月30日(土) 10:00～12:00
		会 場	帝塚山大学学園前キャンパス 16号館 592教室 ：奈良市学園南 3-1-3
		定 員	200人
共催者	なら情報セキュリティ研究会		
後援	警察庁 帝塚山大学 奈良県 奈良県中小企業支援センター 奈良新聞社 朝日新聞社奈良総局 毎日新聞奈良支局 読売新聞奈良支局 産経新聞社奈良支局 日本経済新聞 NHK奈良放送局 奈良テレビ放送 NTT西日本奈良支店		
講師	第1部	工藤英男(なら情報セキュリティ研究会理事・大阪成蹊大学教授)	
	第2部	高瀬宜士(なら情報セキュリティ研究会会長・帝塚山大学教授)	
<b>参加者数</b>			
		158	名(一般)*なお、事前申込者は定員を超える209名
	総勢参加者	172	名(来賓、県警含む)
<b>来場者の特徴</b>			
<p>帝塚山大学等の公開講座受講者が多く、その分、昨年度と同じく高齢者が多い。地域的には奈良市、生駒市在住の方が多いが、奈良県中部、東大阪を中心とした大阪府、京都府南部からの参加者もあった。夫婦での申込が相当数あった。</p>			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	神奈川県 横須賀市	日 時	2004年11月2日(火) 13:30-15:30 (開場 13:00)
		会 場	横須賀市役所正庁 5階 : 横須賀市小川町 11
		定 員	200名
共催者	横須賀市、横須賀市 IT 戦略会議		
後援	警察庁、神奈川県、NPO 情報セキュリティフォーラム		
講師	JNSA 政策部会 大溝裕則		
<b>参加者数</b>			
103名(一般)			
58名(市職員)			
総勢参加者 177名(来賓、県警、スタッフ含む)			
<b>来場者の特徴</b>			
<p>一般参加者と横須賀市の職員が参加し、会場がほぼ満席となる盛況ぶりであった。一般参加者の中心となったのは60代~70代の男性で、全体のおよそ6割を占めた。熱心にメモをとる姿が多く見られ、関心の高さがうかがえた。</p>			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	愛知県 名古屋市	日 時	2004年11月6日(土) 13:30～15:30(開場 13:00)
		会 場	名古屋市公会堂 4F 第7集会室 ：名古屋市昭和区鶴舞 1-1-3
		定 員	150名
共催者	NPO 東海インターネット協議会 (TIC)		
後援	警察庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会		
講師	JNSA 西日本支部 中台芳夫		

### 参加者数

74名(一般)

総勢参加者

90名(来賓、県警含む)

### 来場者の特徴

来場者のうち40代(11名)、50代(22名)、が半数以上を占めた。またシニア世代は(60、70代21名)女性の参加が目立った。参加者のほとんどがインターネットを利用しており、シニア世代を含む10数名は自分または家族がホームページを持っている人たちであった。

また、休日のため公務としてではない形で近畿経済産業局の方が2名参加された。



インターネット安全教室開催報告書			
開催地	神奈川県 厚木市	日 時	2004年11月6日(土) 13:30-15:30 (開場 13:00)
		会 場	厚木市ヤングコミュニティセンター : 厚木市中町 1-1-3
		定 員	80名
共催者	厚木市、 NPO 情報セキュリティフォーラム ( ISEF )		
後援	警察庁、神奈川県		
講師	NPO 情報セキュリティフォーラム 事務局 戸村武也		
<b>参加者数</b>			
		67名(一般)	
総勢参加者		86名(来賓、県警、スタッフ、マスコミ取材を含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>20代～70代の幅広い世代の一般参加者が募り、会場が満席となる盛況ぶりであった(中心の世代は60代が20名、40代が19名)。一般参加者の性別比は男性6:女性4と、特に60代以上の男性の参加が目立った。また、体験学習に多くの参加希望が出るなど、関心の高さがうかがえた。</p>			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	大分県 大分市	日 時	2004年11月7日(日) 13:30-15:30
		会 場	大分県立芸術文化短期大学 大講義室 ：上野丘東 1-11
		定 員	200名
共催者	財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、大分県立芸術文化短期大学		
後援	警察庁、大分県、大分市、大分大学、大分合同新聞社、西日本新聞社、NHK、大分県情報サービス産業協会、大分ISP協議会、大分県情報教育研究会、NPOシニアネット大分		
講師	渡辺尚子(大分県立芸術文化短期大学)		

### 参加者数

93名(一般)

総勢参加者 100名(来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

全体的には高齢者の参加者が多数であったものの、高校生や小学生などの低年齢層の参加者も若干見られた。開催日を日曜としたため、結果的に他の多くの行事とぶつかってしまい、逆に来場対象者を狭めた感もあった。

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	福井県 小浜市	日 時	2004年11月9日(火) 13:30～15:30(開場 13:00)
		会 場	福井県小浜市働く婦人の家 大会議室 ：小浜市大手町 4-1
		定 員	150名
共催者	経済産業省、NPO日本ネットワークセキュリティ協会		
後援	警視庁		
講師	福井県地域パソコンマスター 堀孝敏、小西敦尚 JNSA 技術部会 渡部章		
<b>参加者数</b>			
	52名(一般)		
総勢参加者	59名(講師、主催者事務局スタッフ含む)		
<b>来場者の特徴</b>			
<p>20代から70代の幅広い年齢層の方が参加し、偏りのない構成であった。申し込みの状況を見ると、地元商工会議所会員へ案内を行っていたこともあり、会社の社員が多いようであり、ある程度のインターネットの知識は兼ね備えているようであった。</p>			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	岐阜県 大垣市	日 時	2004年11月17日(水) 13:30-15:30 (開場 13:00)
		会 場	ソフトピアジャパン・センタービル 10階大会議室 : 大垣市加賀野 4-1-7
		定 員	126名
共催者	岐阜県消費生活センター、マルチメディア&VR メッセぎふ実行委員会		
後援	警察庁		
講師	JNSA 幹事 桂川昌治		
<b>参加者数</b>			
		90名(一般)	
総勢参加者		107名(来賓、県警含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>参加者の中心は中高年層で、男女比はおよそ 2:1。当日は会場となったソフトピア・ジャパンの併設イベントと兼ねていたためか、事前申し込みなしの参加者が多くみられ、全体の 1/4 を占めていたのが印象的であった。また、NHK の方が 1 名、取材のため来場された。</p>			
			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	和歌山県 和歌山市	日 時	2004年11月19日(金) 14:00-16:00 (開場 13:30)
		会 場	和歌山マリーナシティ内 <わかやま館> : 和歌山市毛見 1520
		定 員	100名
共催者	NPO 情報セキュリティ研究所 ( R I I S )		
後援	警察庁、和歌山県、和歌山県警察本部、和歌山県PTA連合会		
講師	JNSA 事務局長 下村 正洋 NPO 情報セキュリティ研究所 副代表理事 上原 哲太郎		

### 参加者数

133名(一般)  
総勢参加者 149名(来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

参加者の約6割を地元高校生、2割を学校教員(小中高)、残りはその他一般参加者となった。毎年、総務省と地方公共団体が共同で開催する全国的なイベント「全国マルチメディア祭 2004 in わかやま」のプログラムの一つとして当安全教室が紹介されていたこともあり、事前申し込みなく当日参加された方も数名おられた。

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	神奈川県 横浜市	日 時	2004年11月20日(土) 13:30-15:30 (開場 13:00)
		会 場	学校法人岩崎学園 横浜西口2号館807教室 : 横浜市神奈川区鶴屋町2-17
		定 員	200名
共催者	NPO 情報セキュリティフォーラム ( ISEF )		
後援	警察庁、神奈川県、学校法人岩崎学園		
講師	NPO 情報セキュリティフォーラム 事務局 戸村武也		
<b>参加者数</b>			
		140名(一般)	
総勢参加者		157名(来賓、県警、スタッフを含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>地域的には、神奈川県内からの参加者を中心に、東京・千葉・埼玉からの参加者がいた。年齢的には、10代～70代の幅広い世代の一般参加者が集い、会場は盛況ぶりであった(一般参加者の平均年齢は53.1歳。中心の世代は60代が42名、50代が31名、40代18名)。一般参加者の性別比は男性7:女性3と、男性の参加が目立った。また、体験学習に多くの参加希望(10名)が出るなど、関心の高さがうかがえた。</p>			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	大阪府 大阪市	日 時	2004年11月20日(土) 14:00-16:00 (開場 13:30)
		会 場	総合学園ヒューマンアカデミー大阪校 : 大阪市中央区南船場4-3-2
		定 員	180名
共催者	総合学園ヒューマンアカデミー大阪校		
後援	警察庁、e-kokoro協議会		
講師	JNSA 政策部会 山田 英史		
<b>参加者数</b>			
総勢参加者		37名(一般、来賓、県警含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢的に見れば、比較的30～40代の参加者が半数を占めていた。</li> <li>・中学/高校の現役教師の方々も目立った。</li> </ul>			

インターネット安全教室（浦添）開催報告書			
開催地	沖縄県 浦添市	日 時	平成 16 年 11 月 23 日（火）勤労感謝の日 14:00～16:00（開場 13:30）
		会 場	浦添市社会福祉センター 3階大研修室 ：浦添市仲間 1-10-7
		定 員	200 名
共催者	経済産業省、日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）、沖縄インターネット協議会（OIA）、ITC 沖縄		
後援	警察庁、沖縄県、沖縄県警察本部		
講師	瑞慶覧 辰（沖縄インターネット協議会）		
<b>参加者数</b>			
		103 名（一般）	
総勢参加者		108 名（来賓、県警含む）	
		<b>来場者の特徴</b>	
		30 代以上の幅広い年代の方が参加していた。 10 代、20 代の参加者も見られた。	

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	岡山県 岡山市	日 時	平成 16 年 11 月 27 日 (土) 9 : 30 ~ 11 : 30 (開場 9 : 00)
		会 場	ほっとプラザ大供 第 3 研修所 : 岡山市大供 2-3-16
		定 員	1 0 0 名
主催者	岡山市連合町内会 I T 専門委員会、岡山市電子町内会連絡協議会、岡山市		
共催者	経済産業省、J N S A、(株)エス・シー・ラボ		
後援	警察庁		
講師	(株)エス・シー・ラボ 武田 宗逸		
<b>参加者数</b>			
		8 7 名 (一般)	
総勢参加者		9 2 名 (来賓、県警含む)	
		<b>来場者の特徴</b>	
		電子町内会会員が対象のため、受講者の殆どがインターネット・メールの利用者である。 また、6 0、7 0 歳代の方の参加が多かった。	

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	青森県 八戸市	日 時	2004年12月10日(金) 14:00-16:00 (開場 13:30)
		会 場	八戸インテリジェントプラザ アイピーホール : 八戸市北インター工業団地 1-4-43
		定 員	120名
共催者	財団法人 八戸地域高度技術振興センター		
後援	警察庁、青森県警察本部、八戸市、青森インターネットプロバイダ防犯連絡協議会、社団法人青森県情報サービス産業協会、高度技術利用研究会第三部会、八戸大学総合研究所、株式会社八戸インテリジェントプラザ、株式会社サン・コンピュータ、株式会社ハイネット		
講師	JNSA 政策部会 大溝裕則		
<b>参加者数</b>			
	96名(一般)		
総勢参加者	110名(来賓、県警含む)		
			
<b>来場者の特徴</b>			
<p>参加者は中高年層、若手ビジネスマン・OL層、主婦層など、平均的に幅広い層となった。若手ビジネスマンの参加を得た理由に、地元ソフトウェアハウス2社が後援したためと共催者は説明している。また、八戸市広報誌にも告知したことで中高年層の参加も促されたようだ。当日は、NHK 報道局(おはよう日本)制作センター・ディレクター1名と、カメラクルー4名の計5名が取材のため来場された。(取材内容は12月15日 NHK「おはよう日本」の番組の約7分枠の特集の中で約1分間放映された。) また、会場前ロビーにて、東北管区警察局 青森県情報通信部の4名が、休憩時間を利用して、「@Police サイト」などの説明を行った。</p>			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	北海道 室蘭市	日 時	2004年12月18日(土) 14:00-16:00 (開場 13:30)
		会 場	室蘭工業大学 講義室 N401 : 室蘭市水元町 27-1
		定 員	150名
共催者	特定非営利活動法人くるくるネット		
後援	警察庁、北海道、北海道胆振支庁、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭工業大学、北海道教育長胆振教育局、室蘭市教育委員会、伊達市教育委員会、北海道新聞社室蘭支社、室蘭民放社、室蘭商工会議所		
講師	JNSA 研究員 園田道夫		
<b>参加者数</b>			
		113名(一般)	
総勢参加者		128名(来賓、県警含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
参加者は、中高年男女と、地元の大学生男女で大きく二分された(5対5程度)。中高年の男女は、「くるくるネット」鳥山晃氏が主宰するパソコンスクールに通っている方々とその友人が中心となった。また、北海道新聞、室蘭民報に事前告知を通じた参加も多数あり、両メディアの取材も入った。			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	新潟県 新潟市	日 時	平成 16 年 12 月 18 日(土) 14 : 00 ~ 17 : 00 ( 会場 13 : 30 )
		会 場	万代島ビル 1 1F NICO プラザ ：新潟市万代島 5-1
		定 員	1 5 0 名
共催者	にいがた産業創造機構 ( NICO )、JNSA、経済産業省		
後援	警察庁、新潟県警察		
講師	NPO 新潟情報セキュリティ協会 ( ANISec ) 小松原 事務局長		
<b>参加者数</b>			
		1 2 2 名 ( 一般 )	
総勢参加者		1 3 5 名 ( 来賓、県警含む )	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>コンピュータ関係の専門学校に課外単位として認めていただいたため 専門学校生が多かった 一般の方では退職後と見られる男性が多かった</p>			
			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	栃木県 宇都宮市	日 時	2005年1月18日(火) 13:30～15:30 (開場 13:00)
		会 場	栃木県自治研修所 講堂 : 宇都宮市埴田 1-1-20
		定 員	160名
共催者	栃木県、NPO 栃木シニアセンター		
後援	警察庁、下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送		
講師	JNSA 研究員 園田道夫		

### 参加者数

142名(一般)  
総勢参加者 165名(来賓、県警含む)

### 来場者の特徴

共催者がシニアセンターだったこともあり、参加者の半数が60代と、来場者の年齢層は他開催地と比べても若干高めであった。男女比はおよそ3:2。質疑応答では、プログラム中に流したCD-ROMに関する基礎的な質問から、インターネット犯罪取り締まりに関する質問まであり、参加者の基礎知識/興味が幅広かった。また、会場前ロビーにて、栃木県警の職員が、休憩時間等を利用して、展示・「@Police サイト」などの説明を行った。



## インターネット安全教室開催報告書

開催地	佐賀県 佐賀市	日 時	2005 年 1 月 25 日 ( 火 ) 14:00 ~ 16:00 ( 開演 13:30 )
		会 場	アバンセホール ( 佐賀県立女性センター、佐賀県立生涯学習センター ) : 佐賀市天神 3-2-11
		定 員	300 名
共催者	佐賀県、NetCom さが推進協議会		
後援	警察庁、佐賀県警察本部、佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、NHK 佐賀放送局、サガテレビ、佐賀県ケーブルテレビ協議会、佐賀県ネットワーク・セキュリティ対策協議会、佐賀県高度情報化推進協議会		
講師	JNSA 技術部会 渡部章		
<b>参加者数</b>		315 名 ( 一般 )	
<b>総勢参加者</b>		329 名 ( 来賓、県警含む )	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>来場者の 8 割弱は、今回の後援機関となった佐賀県警、同県教育委員会が動員した人々。CATV などのプロバイダー ( 20 名 ) は、主として NetCom さが推進協議会のメンバー企業。今回のインターネット安全教室を、主催者と県警は、県内で行うネットワーク犯罪防止講習会のインストラクター養成の場として位置づけ、自機関からの動員を行った。このため、子供、学生や高齢者は参加していない。佐賀県では、今年、県内 70 カ所でインターネット犯罪防止講習会を開く予定。</p> <p>参加申込者が 300 名に達したため、一部は会場ホール外のモニターテレビで聴講するほどの盛況ぶりであった。</p> <p>今回の安全教室は、事前告知記事の格好で、本年 1 月 20 日の佐賀新聞に掲載されたほか、当日はサガテレビとケーブルテレビ、佐賀シティビジョンによる撮影取材が行われた。ケーブルテレビでは、その番組「ぶんぶんテレビ」 (<a href="http://www.bunbun.co.jp/">http://www.bunbun.co.jp/</a>) で 1 時間ものとして放映される予定。</p>			



インターネット安全教室開催報告書			
開催地	大分県 日田市	日 時	2005年1月29日(土) 13:30-16:00(会場13:00)
		会 場	日田市中央公民館ホール(文化センター) : 日田市上城内町2-6
		定 員	300名
共催者	ひたインターネット協議会 財団法人ハイパーネットワーク社会研究所		
後援	日田市、日田市商工会議所、日田市教育委員会		
講師	JNSA 政策部会 大溝 裕則 財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 渡辺 律子		
<b>参加者数</b>			
126名(一般) 総勢参加者 138名(来賓、県警含む)			
<b>来場者の特徴</b>			
比較的高齢者が多かった 遠隔地からも数人来ていた 比較的初心者が多かった 顔見知りが多かった 高校生を期待したが、受験期、就職期で少なかった。			
			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	神奈川県 藤沢市	日 時	2005年2月4日(金) 14:00-16:00 (開場 13:30)
		会 場	藤沢市役所 防災センター 6階 会議室 : 藤沢市朝日町 1-13
		定 員	80名
共催者	藤沢市		
後援	警察庁、神奈川県、NPO 情報セキュリティフォーラム (ISEF)		
講師	NPO 情報セキュリティフォーラム 事務局 戸村武也		

### 参加者数

81名(一般)

### 総勢参加者

105名(来賓、県警、スタッフを含む)



### 来場者の特徴

定員 80 名の会場に一般の方 81 名が入り、会場は盛況であった。男女の性別の比率では、男性が 76.5%と目立った。とりわけ年齢的に、男性の 60 歳代の方が 33%と、高齢者の方の参加が多かった。参加者の多くは(およそ 4 割の参加者が)、藤沢市の広報紙をみてインターネット安全教室を知った方が多かった。また、体験学習に多くの参加希望(9 名)が出るなど、関心の高さがうかがえた。

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	高知県 高知市	日 時	2005年2月8日(火) 14:00 - 16:00 (開場 13:30)
		会 場	高知県工業技術センター 技術研修室 : 高知市布師田 3992-3
		定 員	120名
共催者	高知県、社団法人高知県情報産業協会		
後援	警察庁、財団法人高知県産業振興センター、 株式会社高知ソフトウェアセンター、高知県教育委員会		
講師	JNSA 技術部会 渡部章		

### 参加者数

106名(一般)  
総勢参加者 122名(来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

一般参加者106名の内訳は男性66名、女性40名。一般市民に混じり市役所職員、企業関係者が1割を占めた。また、年齢階層では、20～30代が2割程度であったのに対し、81才の最高齢者を含む60代以上の参加者が約4割を占め、高齢者の参加が際立った。共催者の高知県情報産業協会によると、県のシルバー人材センター・パソコン教室の受講者が多数参加したとのこと。開催直前まで参加者数が伸び悩んだが、前週末の高知新聞での開催告知記事掲載やローカルテレビでの取り上げが多く多くの市民の参加を促したようだ。今回のインターネット安全教室には、NHK高知支局が取材に訪れ、参加者へのインタビューを行った。NHKローカルでの放送は、2月8日午後6時10分。

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	神奈川県 小田原市	日 時	2005年2月19日(土) 13:30-15:30 (開場 13:00)
		会 場	小田原市保健センター 3階 会議室 : 小田原市酒匂 2-32-16
		定 員	200名
共催者	小田原市、NPO 情報セキュリティフォーラム (ISEF)		
後援	警察庁、神奈川県		
講師	NPO 情報セキュリティフォーラム 事務局 戸村武也		
<b>参加者数</b>			
		40名(一般)	
総勢参加者		58名(来賓、県警、スタッフを含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>参加者40名の男女の比率が、男性55%、女性45%と比較的均衡がとれていた。また年齢的構成は、50歳代(32.5%)、60歳代(22.5%)を中心に20歳代から70歳台まで広範な世代の参加があった。また、事前申し込みが41名と少なかったことに反して、当日の参加申し込みが7名(参加者の17.5%)いたことが特徴的であった。小田原市の広報紙をみてインターネット安全教室を知った方が多かった(およそ参加者の3割)。また、体験学習に多くの参加希望(7名)が出るなど、関心の高さがうかがえた。</p>			
			

## インターネット安全教室開催報告書

開催地	大阪府 大阪市	日 時	2005年2月22日(火) 13:30～15:30 (開場 13:00)
		会 場	大阪市立中央区民センター ホール ：大阪府中央区久太郎1-2-27
		定 員	200名
共催者	大阪市 PTA 協議会		
後援	警察庁		
講師	JNSA 政策部会 山田英史		

### 参加者数

207名(一般)

### 総勢参加者

219名(来賓、県警含む)



### 来場者の特徴

参加者の中心は、共催団体の大阪市 PTA 協議会の会員で、35歳～45歳の女性(母親層)であった。質疑応答セッションでは多数の質問があったことなどから、問題意識をもって本セミナーに参加したと思われる。

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	熊本県 熊本市	日 時	2005年2月26日(土) 14:00~16:00 (開場 13:30)
		会 場	熊本市総合女性センター 多目的ホール : 熊本市黒髪 3-3-10
		定 員	200名
共催者	NPO 熊本県次世代情報通信推進機構 (NEXT 熊本)		
後援	警察庁、熊本県、熊本市、熊本日日新聞社		
講師	JNSA 西日本支部 中台芳夫		
<b>参加者数</b>			
		90名(一般)	
総勢参加者		103名(来賓、県警含む)	
<b>来場者の特徴</b>			
<p>申込者の殆どは、熊本日日新聞の夕刊(2回掲載)を通じた方々であった。同新聞の地元購読率は約8割であることから、効果的な告知活動であったといえる。申込者数は120名。参加率は75%と高い数字であった。参加者の中心は、40代(約3割)、50代(約2割)。40代の現役世代が多く参加した理由として、開催曜日が土曜日で会社の休みと重なったためではないかと共催者は見ている。</p>			
			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	千葉県 千葉市	日 時	2005年3月6日(日) 13:30～15:30 (開場 13:00)
		会 場	幕張ベイタウン・コア(打瀬公民館)「ホール」 : 千葉市美浜区打瀬 2-13
		定 員	120名
共催者	NPO 幕張メディアアソシエイツ		
後援	警察庁、城西国際大学		
講師	JNSA 研究員 園田道夫		
<b>参加者数</b>			
		156名(一般)	
総勢参加者	193名(来賓、県警含む)		
<b>来場者の特徴</b>			
<p>参加者は60代の男性シニア層が中心となった。男女比は、男性7割、女性3割。参加者は、ミニコミ誌「朝日フレンド」千葉版、日経・読売千葉版のイベント案内、商店街に貼ったちらしなどの紙媒体を通じた申し込みが多数を占め、共催者が主宰するパソコンスクール生徒は少数派となった。参加者は、地元だけでなく県内遠方からの参加もあった。マスコミからの参加は、読売新聞社、ガーデンタウン有線テレビ放送局。また、会場前のロビーでは、千葉県情報通信部の3氏が、@Policeの展示とパソコンによる説明を行った。</p>			
			

インターネット安全教室開催報告書			
開催地	愛媛県 松山市	日 時	2005年3月25日(金) 13:30～15:30 (開場 13:00)
		会 場	松山市男女共同参画推進センター 「コムズ」大会議室 : 松山市三番町 6-4-20
		定 員	144名
共催者	愛媛県 IT 推進協会		
後援	警察庁、愛媛県、松山市、愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会		
講師	JNSA 事務局長 下村正洋		
<b>参加者数</b>			
		80名(一般)	
総勢参加者		96名(来賓、県警含む)	
		<b>来場者の特徴</b>	
		<p>幅広く各年齢層をカバーしていたが、特に 20 30 代の参加者が全体の半数近くを占めた。県教育委員会が県内小・中・高等学校に参加を呼びかけたことから、これらの学校から 14 名の教育関係者が参加した。また、生涯教育のための県文化センター・パソコン教室から 10 名余の高齢者が参加した。</p>	

#### 4. 来場者数について

以下に各開催地での来場者数に関する情報を一覧する。

日程	開催地	定員	事前登録数	一般参加者数	来賓等 ( )	参加者 総数	参加者総数 / 定員
10月7日	島根	100	58	78	14	92	92.0%
10月16日	東京	150	103	93	20	113	75.3%
10月22日	兵庫	150	109	130	11	141	94.0%
10月30日	奈良	200	209	158	14	172	86.0%
11月2日	神奈川(横須賀)	200	117	161	16	177	88.5%
11月6日	愛知	150	54	74	16	90	60.0%
11月6日	神奈川(厚木)	80	-	67	19	86	107.5%
11月7日	大分(大分)	200	-	93	7	100	50.0%
11月9日	福井	150	-	52	7	59	39.3%
11月17日	岐阜	126	77	90	17	107	84.9%
11月19日	和歌山	120	119	133	16	149	124.2%
11月20日	神奈川(横浜)	200	-	140	17	157	78.5%
11月20日	大阪 (ヒューマンアカデミー)	180	-	-	-	37	20.6%
11月23日	沖縄	200	-	103	5	108	54.0%
11月27日	岡山	100	-	87	5	92	92.0%
12月10日	青森	120	85	96	14	110	91.7%
12月18日	北海道	150	121	113	15	128	85.3%
12月18日	新潟	150	-	122	13	135	90.0%
1月18日	栃木	160	136	142	23	165	103.1%
1月25日	佐賀	300	293	315	14	329	109.7%
1月29日	大分(日田)	300	-	126	12	138	46.0%
2月8日	高知	120	86	106	16	122	101.7%
2月4日	神奈川(藤沢)	80	-	81	24	105	131.3%
2月19日	神奈川(小田原)	200	-	40	18	58	29.0%
2月22日	大阪 (PTA協議会)	200	-	207	12	219	109.5%
2月26日	熊本	200	117	90	13	103	51.5%
3月6日	千葉	120	128	156	37	193	160.1%
3月25日	愛媛	144	58	80	16	96	66.7%
<b>合計</b>		<b>4,550</b>	-	-	-	<b>3,581</b>	-

来賓等とは、来賓、県警の方々、共催者スタッフを含む

全体を通しての参加者は3,581名  
会場に対する参加者総数の動員割合は78.7%

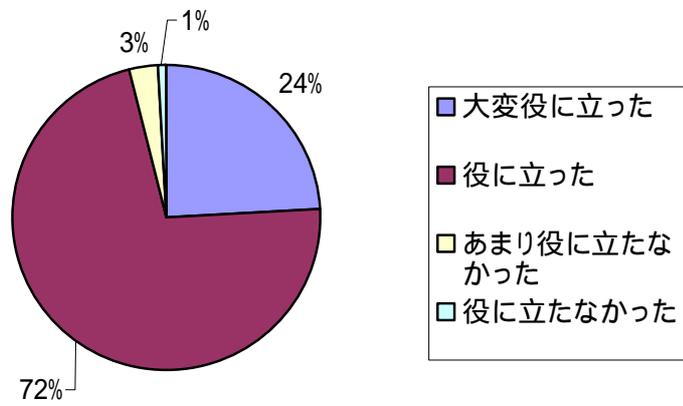
2003年度：2,069名  
2003年度：75.5%

## 5. アンケート結果

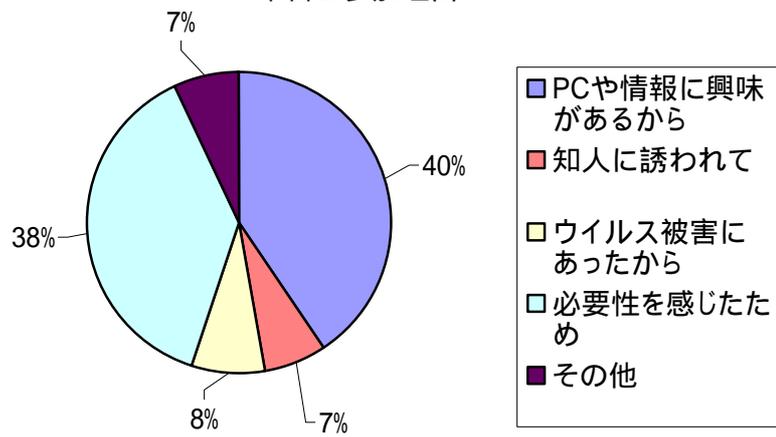
	回答数	今回のセミナーに参加していかがでしたか						本日の参加理由					満足度		
		大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	大変面白かった	面白かった	あまり面白くなかった	面白くなかった	PCや情報に興味があるから	知人に誘われて	ウイルス被害にあったから		必要性を感じたため	その他
島根県	62	18	30	1	0	3	19	3	0	46	5	6	36	5	77.4%
東京都	65	24	28	3	0	7	22	2	1	32	7	7	34	9	80.0%
兵庫県	75	23	36	4	0	5	18	3	1	45	13	9	36	11	78.7%
奈良県	134	0	98	0	2	0	66	0	1	95	7	30	65	5	73.1%
神奈川県 (横須賀市)	104	25	51	7	1	8	26	4	1	53	5	19	60	10	73.1%
愛知県	61	16	39	2	0	6	28	2	0	39	8	9	28	5	90.2%
神奈川県 (厚木市)	63	22	34	2	0	3	25	1	0	45	4	9	26	3	88.9%
大分県	74	0	59	0	0	0	32	0	0	44	8	5	41	4	79.7%
福井県	28	0	27	0	1	0	18	0	1	18	7	2	21	3	96.4%
岐阜県	59	8	33	2	0	1	16	1	0	31	11	3	24	4	69.5%
和歌山県	51	18	26	0	2	2	11	1	2	21	3	3	27	13	86.3%
神奈川県 (横浜)	132	42	66	7	1	11	30	9	0	80	2	10	59	8	81.8%
大阪府 2 (大阪府-1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	74	0	67	0	0	0	53	0	1	40	11	3	44	2	90.5%
岡山県	81	0	77	1	0	0	41	0	0	41	10	9	37	5	95.1%
青森県	75	23	43	4	0	10	33	1	0	44	5	12	36	9	88.0%
北海道	65	17	30	5	1	6	21	7	0	28	8	9	39	6	72.3%
新潟県	91	0	80	0	2	0	62	0	3	46	9	8	47	18	87.9%
栃木県	100	37	47	3	1	8	30	5	0	56	10	16	60	4	84.0%
佐賀県	193	43	117	7	1	21	81	7	0	77	7	5	100	44	82.9%
大分県 (日田市)	75	0	70	0	2	0	27	0	1	40	10	9	40	7	93.3%
神奈川県 (藤沢市)	75	22	49	0	0	4	23	1	0	51	2	11	48	11	94.7%
高知県	75	22	42	3	0	11	19	1	0	41	10	3	51	1	85.3%
神奈川県 (小田原市)	38	8	22	1	0	2	13	2	0	19	2	7	22	3	78.9%
大阪府 (大阪府-2)	89	23	60	2	1	7	34	5	1	-	-	-	-	-	93.3%
熊本県	66	20	35	1	0	5	17	0	1	41	5	7	35	3	83.3%
千葉県	101	28	60	2	0	5	23	10	1	61	15	11	46	4	87.1%
愛媛県	56	17	33	0	1	10	22	2	0	33	8	1	34	2	89.3%
計	2162	456	1359	56	17	135	810	67	15	1167	192	223	1096	199	

(注) 1 満足度：回答数に対する「大変役に立った」「役に立った」の割合  
 2 大阪府-1ではアンケート調査を実施しなかった。

今回のセミナーに参加して役に立ったかどうか



本日の参加理由

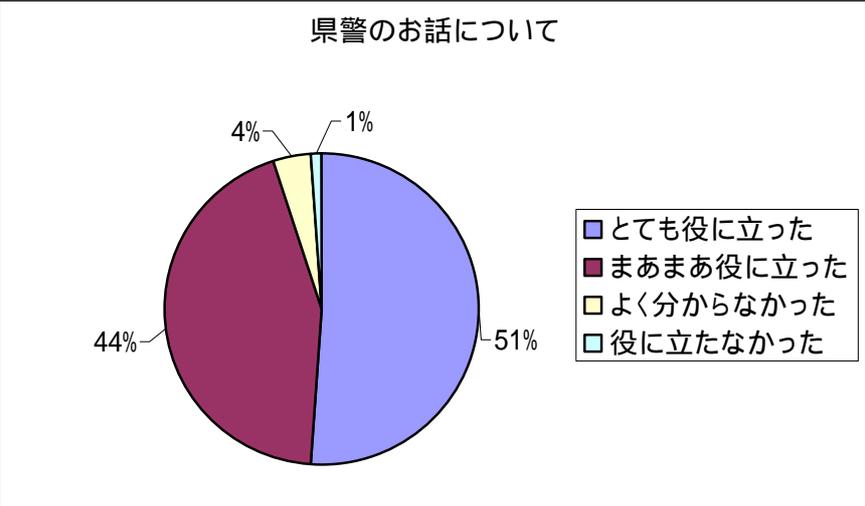
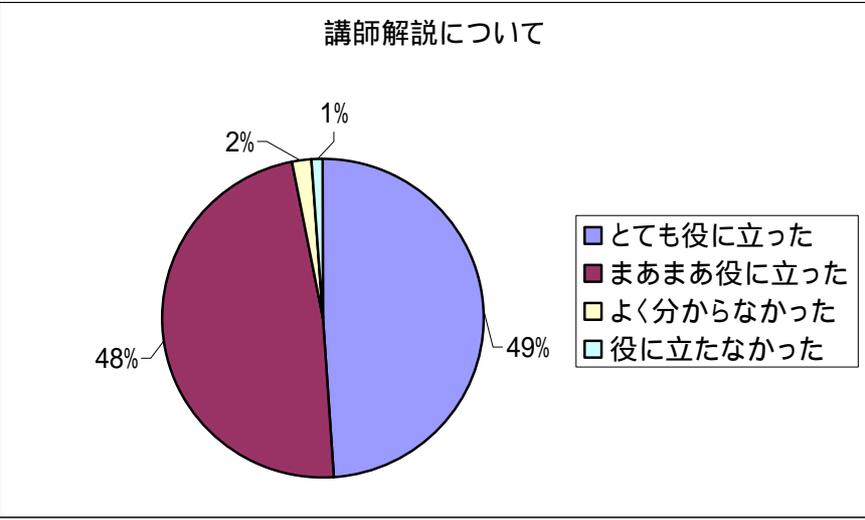
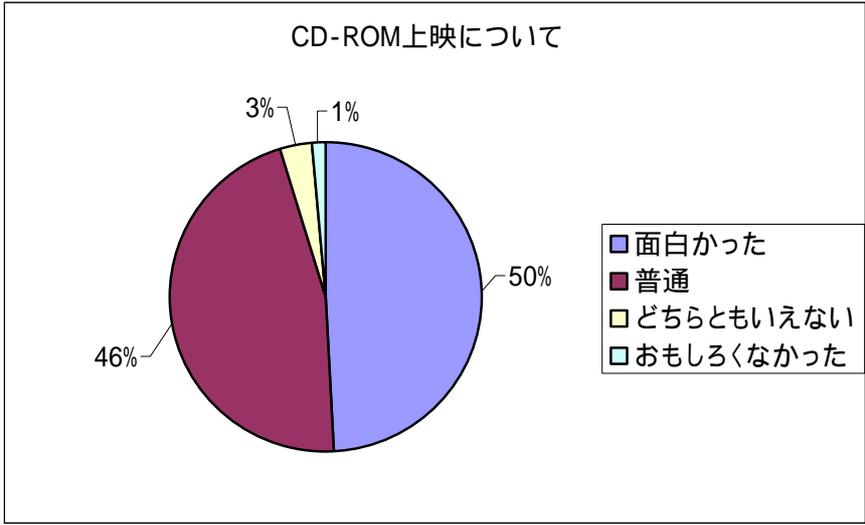


	CD-ROM上映				講師解説				県警のお話			
	面白かった	普通	どちらとも いえない	おもしろく なかった	とても役に 立った	まあまあ役に 立った	よく分から なかった	役に立たな かった	とても役に 立った	まあまあ役に 立った	よく分から なかった	役に立たな かった
島根県	25	33	1	0	25	32	1	0	27	29	0	1
東京都	37	24	2	0	42	15	4	1	35	24	1	4
兵庫県	38	31	2	3	37	37	0	1	15	45	10	4
奈良県	72	50	4	4	54	72	5	0	76	51	3	0
	-	-	-	-	100	24	3	0	-	-	-	-
神奈川県 (横須賀市)	35	57	4	2	39	60	0	2	44	53	2	0
愛知県	37	22	1	0	26	32	1	0	36	22	0	0
神奈川県 (厚木市)	30	30	3	0	27	33	3	0	39	21	2	0
大分県	37	35	2	0	31	38	2	0	38	32	1	1
福井県	10	20	1	2	7	23	1	1	19	13	0	1
岐阜県	30	25	2	1	21	33	2	2	16	32	4	2
	-	-	-	-	27	23	0	0	-	-	-	-
和歌山県	27	18	2	4	27	22	0	2	14	28	4	5
	-	-	-	-	26	19	3	2	-	-	-	-
神奈川県 (横浜市)	69	50	5	1	61	58	5	4	74	49	1	0
大阪府 (大阪市-1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	26	35	4	1	35	33	2	1	34	30	5	0
岡山県	50	25	3	0	52	25	0	0	23	33	4	0
青森県	37	33	2	2	42	32	0	0	53	20	0	0
北海道	29	29	2	1	18	41	1	2	29	32	1	1
新潟県	38	42	6	4	34	50	5	2	13	39	15	4
栃木県	45	45	2	1	52	41	2	0	55	39	2	0
佐賀県	84	102	6	1	88	100	0	3	110	80	0	0
大分県 (日田市)	39	34	0	0	42	31	1	0	34	27	7	1
神奈川県 (藤沢市)	34	37	2	0	32	37	1	0	52	20	0	0
高知県	39	32	2	0	47	26	0	1	45	27	0	0
神奈川県 (小田原市)	18	16	2	0	15	21	0	1	21	16	0	0
大阪府 (大阪市-2)	42	42	3	2	35	49	1	1	34	45	6	1
熊本県	31	30	2	1	35	28	0	1	40	22	0	0
千葉県	51	43	1	0	43	53	2	0	29	55	8	0
愛媛県	21	32	2	0	24	30	1	0	39	16	1	0
計	1031	972	68	30	1144	1118	46	27	1044	900	77	25

工藤氏講演  
高瀬氏講義

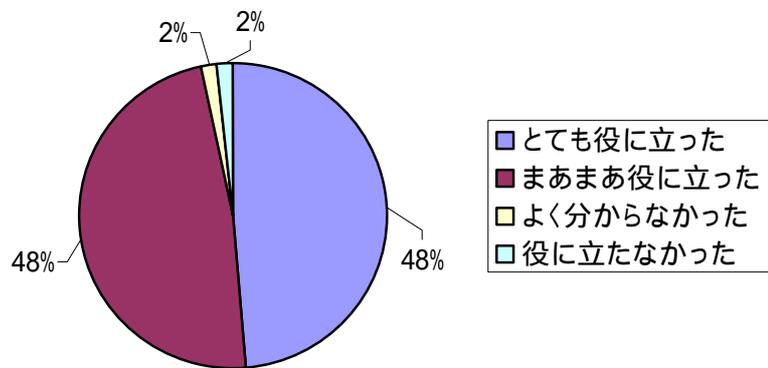
消費生活  
センター

インターネット  
の光と影

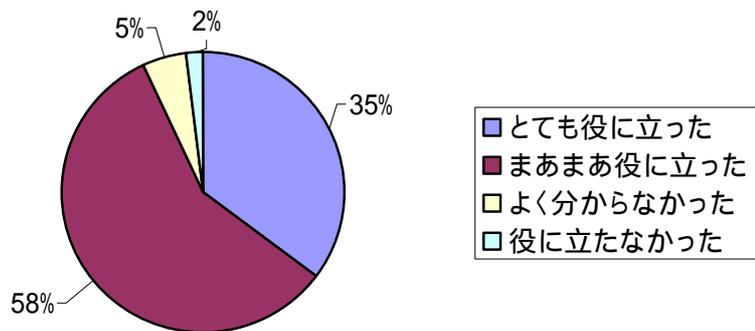


	体験学習				質疑応答				一番面白かったもの				
	とても役に 立った	まあまあ役 に立った	よく分から なかった	役に立たな かった	とても役に 立った	まあまあ役 に立った	よく分から なかった	役に立たな かった	CD-ROM	講師の解説	県警のお話	体験学習	質疑応答
高根県	30	24	1	0	18	17	9	1	4	3	6	4	2
東京都	29	27	2	1	22	27	3	0	5	7	2	9	0
兵庫県	25	43	1	5	20	43	2	6	5	12	2	3	4
奈良県									16	8	33		
										94			
神奈川県 (横須賀市)	47	42	2	0	19	54	2	2	1	3	7	16	1
愛知県	26	28	0	0	14	26	2	0	11	2	11	2	1
神奈川県 (厚木市)	29	25	1	1	23	20	3	2				5	5
大分県	24	34	1	1	11	28	3	0	8	7	13	8	0
福井県					5	6	1	0	0	0	18		0
岐阜県	17	32	0	0	6	18	2	0	8	0	4	6	0
										6			
和歌山県	20	24	3	2	13	21	1	3	2	4	1	3	1
										7			
神奈川県 (横浜市)	61	51	2	2	34	53	2	2	4	6	20	13	2
大阪府 (大阪市-1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	28	26	2	1	19	25	2	1	8	5	4	8	2
岡山県	41	35	1	0	30	30	3	1	-	-	-	-	-
青森県	27	41	0	0	16	28	2	1	3	3	15	3	0
北海道	31	30	1	1	13	27	2	2	8	5	7	7	0
新潟県	52	27	4	1	25	38	4	0	7	5	1	33	2
栃木県	57	32	1	2	32	37	2	0	8	5	3	10	2
佐賀県	60	102	1	8	31	67	2	1	16	18	30	11	2
大分県 (日田市)	43	14	1	2	20	15	6	0	9	6	4	7	2
神奈川県 (藤沢市)	33	34	0	0	13	26	1	3	7	4	20	12	0
高知県	38	32	1	0	21	28	3	0	3	7	15	4	0
神奈川県 (小田原市)	15	17	0	0	4	23	1	1	18	0	7	2	0
大阪府 (大阪市-2)	30	44	2	1	12	35	2	2	9	10	9	12	2
熊本県	32	26	0	2	21	29	2	0	5	3	4	3	2
千葉県					26	46	3	0	9	7	4	8	1
愛媛県	29	24	0	0	17	23	3	0	3	6	12	5	0
計	824	814	27	30	485	790	68	28	177	243	252	194	31

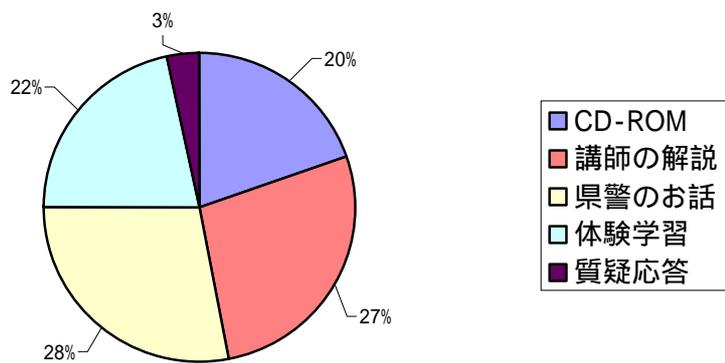
### 体験学習について



### 質疑応答について



### 一番面白かったもの



## 6. 質疑応答の分析

各地での質疑応答を分類してみた。分類は次の項目で行っている。

- (1) マイクロソフトの OS などパソコンの環境に関するもの
- (2) ウイルスや不正プログラム、迷惑メールなどに関するもの
- (3) インターネットなどネットワークに関するもの
- (4) 電子商取引や架空請求、詐欺などに関するもの
- (5) その他、イベント内容に関するものなど

これらの項目分類は、昨年度の実施報告書と原則同じとしているが、今年度は「その他」の項目を増やしている。昨年度と今年度を比較してみたのが次の表である。

項目	年度	2003 年度	2004 年度	増加割合	正規化増減率
開催地数		11	28	2.55	100%
(1)OS 等		7	9	1.29	50.6%
(2)ウイルス等		16	39	2.44	95.7%
(3)インターネット等		21	10	0.48	18.8%
(4)架空請求等		5	22	4.40	172.5%
(5)その他イベント関連			7		
質疑応答数合計		60	115	1.92	75.3%

開催地数が 2.55 倍に増えたのに対し、質問数は 1.92 倍(開催地数で正規化して 75.3%)と若干伸び悩んでいるが、自主開催では奈良県のように質疑応答の時間をとらず、休憩時間に相談コーナーを設けている場合もあるので、そんなに大きく質問が減ったということはなさそうである。

質問項目の増減で目立つのは、架空請求系の増加(同 172.5%)と、インターネット関係の減少(同 18.8%)である。架空請求系が増えたのは、2004 年度の講師解説でフィッシング関係を充実させたせいもあると思われるが、一般の関心や実被害も多かったことがうかがわれる。これに対しインターネット関係が減ったのは、ネットワーク関係のトラブルが相対的に少なくなってきているのだろう。つなげばとりあえずつながるという段階に到達したと言えるようである。

次に各項目の質問内容について整理してみよう。

## 6.1 マイクロソフトの OS などパソコンの環境に関するもの

パソコンの OS や環境などについての質問は、昨年度の 7 件に対して今年度は 9 件と開催地の増加と比べると相対的に減少している(開催地数で正規化して 50.6%)。今年度は WindowsXP の SP2 が公開されているので、この問題に関する質問が目立ったが、基本的な設定に関しては、特に詳しく知らなくても程々に動いてしまうのであまり意識しなくてもすむようになってきているのかもしれない。新しいトピックスに連動して質問が出てくる感じである。

質問	回答	開催地
講演のなかで「メールのプレビューウインドウを表示しないように」という話でしたが、テキスト表示のプレビューもしない方が良いでしょうか。	テキストだけであれば問題はありますが、ウイルスをいわゆるアーカイブの形に包み込んだ場合にはウイルスは検出されないのので、送られてくるとそれを開く危険性があります。テキスト表示のプレビューもしないことをお勧めします。	島根
Windows アップデートで SP2 をインストールしたら固まってしまった。これを回避する方法はあるのか。	マイクロソフト社は OS のセキュリティを強化するために SP2 を開発したが、このソフトをインストールすると、パーソナルファイアウォールが設けられ、インターネットに繋がらなくなることがある。SP2 のプログラムの不具合が改善されるまでは、インストールは待ったほうが無難だろう。また、新しいソフトを入れる場合など、新たな環境をコンピュータに作る場合は必ずデータのバックアップを行うことが大事。	東京
Windows Update をしろというが、SP2 はどのようにしたら良いか。色々問題があると聞いています。実際のところはどうか。	現在は Windows XP を使用している場合、最新の Update をしようとする、自動的に SP2 がインストールされます。インストールされないとすれば、ワクチンソフトがいたずらしている可能性が考えられるので、一時的にワクチンソフトを使わない設定にするとよいと思います。ただし、あるメーカーの特定のパソコンでは SP2 をインストールすることでクラッシュしたというケースも報告されているので、インストールをする前に必ずバックアップをとることが大切です。	神奈川 (横須賀)
インターネットを始めているが、パソコンセキュリティの本のとおりセキュリティを強化したら、サイトに接続するときに「このサイトの安全性があるのかどうかの確認を Yes か No かでお答え下さい」とメッセージが出るようになった。そもそもパソコン初心者なので、このサイトの安全性があるのかわからない。判断基準をどうやって知る事ができるか、サイトとかがあれば教えていただきたい。	実は普通の人間関係の人を信用するのと一緒なのですが、この人信用できますかと聞かれて、返事できないのと同じくらい難しい事です。一つ言えるのは、むやみやたらにポップアップが出るサイトは何かおかしいという事です。よくある事例だが、そういうポップアップを不用意に「Yes」を押すと「アドウェア」という変なソフトが入ってくる場合がある。起動が妙に遅くなったり起動時に変な画面が出てきたりする。基本的には「No」にするのが正しい。「No」にする事でそのサイトで使えなくなる機能が出てくるが、本当にその機能が必要な場合を除いて全部「No」にした方がいい。仮に変なソフトが入ってしまった場合は、それを除去するソフトもあるのでそ	沖縄

質問	回答	開催地
	れを使って除去した方が良い。	
WindowsXPのSP2を適用したのだが、動かないソフトが出て元に戻した。セキュリティ上問題は無いかな？	SP2の適用が望ましいが、ウイルス対策ソフトを入れているのなら大丈夫である。	岡山
Windows XPを使っています。XPのファイヤーウォールと、ワクチンソフト機能にあるファイヤーウォールは両方を有効にした方がよいのでしょうか。	どちらかを有効にしていれば大丈夫です。	北海道
フォルダの共有設定は具体的にどのようにするのか	XPの場合を例に画面に表示しながら説明した。	新潟
Win - xpになってからファイルのパスワードがかけられなくなったが？	Win - xpでも可能です、その方法は別途個別に回答する。	大分 (日田)
メーカーのパソコンにプリインストールされているWindows XPについて、今後Windows Updateができなくなると言う話をインターネットで読んだのですが、真実ですか？	主要なパソコンメーカーがプリインストールして出荷するWindows XPのオンラインアクティベーションを将来中止する(計画がある)、ということです。OEMで供給されるWindows XPのCD-ROMを使って、別のPCにインストールするという違法コピーを無くすためです。正規に購入したパソコンに関しては何も問題はありません。	熊本

## 6.2 ウイルスや不正プログラム、迷惑メールなどに関するもの

ウイルスや、スパイウェア、アドウェアなどの不正アクセスプログラム関係、迷惑メールなどをまとめた。質問数は昨年度とほぼ同等のレベルである。今年度目立ったことは、トロイの木馬系のスパイウェア、アドウェアが浸透し始めていることと、SPAM などの迷惑メールの対策であろう。アンチウイルスの普及率が上がってきてはいるが、まだまだ質問が多く、一般には難しい内容だと思われる節がある。実際、設定しだいでネットワークが繋がらなくなったりするので、分かり難い面もあるだろう。現時点では、アンチウイルスを使う事が、自動車の保険と同じように当たり前のこととなるように啓発するとともに、設定を分かりやすくする努力も必要であろう。

質問	回答	開催地
スパイウェアの中にも消すとまずいものもあるのでしょうか。	同システムのソフトとして、スパイウェアとアドウェアがあります。後者は宣伝広告のために使われている。前者については、喜ぶヒトもいるかもしれないが、情報漏洩にも関係するので、気持ちが悪いのも事実。除くか否かは個人の判断です。	島根
ウイルスソフトでスパイウェアの全てを検出できるのでしょうか。	検出できないスパイウェアがあるのは事実です。複数のソフトのあわせ技で対応することをお勧めします。	島根
ウイルスの話ばかりをしていると、パソコン初心者インターネットの利用をやめたいという人ができます。ウイルスの侵入経路はメールが8割だと聞いているが実際はどうなのでしょう？ パソコン初心者の不安を解消する有効な手立てを知りたいと思いますので、教えてください。	IPA(情報処理推進機構)の報告によると、95%がメールからの感染で、残る5%はホームページなどからですので、プロバイダーのウイルス駆除サービスをうければ、95%は防げるといえます。また、5万とも10万ともいわれるウイルスの種類の中で、日々出ているのは10種類くらいで、感染全体の90%と言われます。流行っているウイルスのトップ10が分かれば、全体の感染の90%をカバーできますので、いち早く見つけられるようにしておくことが大切だと思います。	兵庫
パソコンへのワクチンソフト・インストールを推奨されましたが、そうしたソフトは毎日パターンファイルをアップデートする必要があります。アップデートし忘れた時などを考えると、ワクチンソフトでは完全でないように思うので、メールのウイルス防止策としては、プロバイダーで提供しているメールウイルス駆除サービスを利用するのが最善策だと考えますが、その点はいかがでしょう？	もちろん、そうしたISP提供サービスは有効ですが、ウイルスは、ホームページや、フロッピーディスクなどのメディア媒体からも侵入してくるので、パソコン側のソフトも併用するのがよいと思います。パターンファイルの更新は「自動」設定としておくとういでしょう。	兵庫

質問	回答	開催地
<p>昨年の10月頃からメール添付がはげしく、ほとんどが英語です。また、ウイルス対策ソフトをいれたら、パソコンの立ち上がりが遅くなったので、そのソフトを外して、Windowsのアップデートをかけるようにしています。それでも毎日2,3通は入ってくるのですが、どうしたらよいでしょうか？</p>	<p>ウイルスは100%が海外からのものですので、英語のメールを受け取るはずがない場合は、無条件に破棄するのがよいと思います。また、“Important”と書いてあっても直ぐにひらかないことが大切です。Windowsをアップデートするのがよいと思いますが、ワクチンソフトも併用しておいた方がよいと思います。ワクチン検査法には2つあって、HDを自分で検査にゆく方法と、常に監視をかけているという方法です。後者は、メモリを沢山つかいますので、パソコンが遅い場合はメモリを増やすなどされるとよいと思います。</p>	<p>兵庫</p>
<p>最近ブラウザを、IEからOperaに変えました。ウイルス対策に最適なブラウザを具体的に教えてほしいです。</p>	<p>有名なソフトはウイルスに狙われやすいと言える一方で、そうでないソフトはインターネットとの互換性がない場合もあります。</p>	<p>兵庫</p>
<p>インターネットをするためブラウザを開く度に、見たくないサイトが開かれる。以前は大丈夫だったのだが、どうしたらよいのか。</p>	<p>PCの中に、そのようなサイトを表示させるプログラムが入り込んでいる可能性があります。Cookieに情報が残っているかもしれません。知識のある人間が直接見なければ原因の特定は難しいので、念のため、再インストールするのが一番安全でお勧めです。</p>	<p>神奈川 (横須賀)</p>
<p>ワクチンソフトはウイルス情報を更新するが、ワクチンソフトは常に最新のものを追いつけなければいけないのか。</p>	<p>その方がよいです。しかし、正確には新種のウイルスが発見されてから2~3時間後にワクチンが更新されるので、その2~3時間の間にウイルスに感染してしまうケースもあります。そのため、怪しいと感じたら、メールを開かないようにするなどの対応は必要。また、ウイルスの更新は自動にセットしておくのがよいでしょう。ウイルスに関しては、警察のページにもまとめてあるので、そちらも参考にしてください。</p>	<p>神奈川 (横須賀)</p>
<p>ウイルスのためにパソコンの動きが悪いのかどうか判断がつかない。どこかに持って行って調べてもらうにしても、デスクトップパソコンであるので、自分には運搬が大変だ。この周辺で(名古屋市昭和区)低料金で見えてくれるところはないか。</p>	<p>中京大学の関係団体でシニア向け相談に乗っているところがあることを知っている。基本的には、人的なつながりを利用して尋ねるしかない。ユーザーそれぞれにコンピュータの使用環境が違うので、その場に行って対応できる人ではないと解決できないからだ。PCを購入した店に相談するのも方法だ。</p>	<p>愛知</p>
<p>同時期にウイルスが私と知り合いに送られてきたのですが、私の方はワクチンソフトに引っかかったのですが、知り合いのワクチンソフトでは、引っかかりませんでした。そのようなことがあるのですか。</p>	<p>ワクチンソフトを開発している会社により最新のパターンファイルを更新する間隔が異なります。</p>	<p>神奈川 (厚木)</p>
<p>パソコンの電源をオフにしてもウイルスに感染することがあるのでしょうか。</p>	<p>電源をオフにしてあればウイルスに感染することはないと思います。</p>	<p>神奈川 (厚木)</p>
<p>会社にくるメールでウイルスメールが多くなり、受信拒否を設定したのですが、正しい選択だったのでしょうか。</p>	<p>正しいと思います。</p>	<p>神奈川 (厚木)</p>

質問	回答	開催地
送信した覚えがないのに、「あなたからウイルスメールがきました」というメールが届きました。	最近のウイルスは、第三者のメールアドレスを使い送信するものがあります。あなたの名前を使いウイルスが送られたため、あなたに返信がきたものだと思います。あまりに多くのメールが届くようであれば、プロバイダ等にご相談ください。	神奈川 (厚木)
あやしいメールはすぐ削除しているのですが、それでもプレビューウィンドウは、閉じたほうがいいのですか。	プレビューウィンドウが開いた状態では、メールをクリックしただけで、ウイルスに感染する場合がありますので、プレビューウィンドウは閉じてください。	神奈川 (厚木)
アメリカのサイトを参照してから英語のメールが多くなるようになってしまいました。ウイルスチェックはしていますが、これはウイルスメールでしょうか。	これは、どちらかという迷惑メールと呼ばれるものです。あまり多く来るようでしたら、メールアドレスを変更するか、メールを解析して迷惑メールか判断するソフトがありますのでそちらを導入していただければと思います。	神奈川 (厚木)
ノートパソコンで現在はネットワークに繋いでいないが、ウイルスチェックプログラムのアップデート表示が出る。無視しておいても大丈夫か？	ネットワークに繋ぐ可能性を考慮した場合、冊子解説にあったようにアップデートをしておくべきである。	大分 (大分)
体験学習の問3にある出会い系サイトから広告メールが送られてくる問題に関して、対策方法はメールアドレス変更のみなのか。	基本的にはアドレス変更が一番効果的なので、それをお勧めいたします。プロバイダによっては、指定したメールアドレス・ドメインからの受信拒否も出来ますが、そのようなメールを送ってくる会社は、送信アドレスを変更して送ってくるので、あまり有効ではないでしょう。	岐阜
添付データのついてるメールで「おかしくない」と思ったら、メールの内容だけは開いて大丈夫か。	心当たりがあるものであれば、メールを開いても問題ありません。ただし、「.exe」という拡張子のファイルは自動実行してしまうことがあるので注意が必要です。ワクチンソフトを自動常駐設定にしておく、自動的にチェックしてくれるのでお勧めです。また、送信するとき「余分な添付はつけない」ことが大切です。	岐阜
市販のウイルス対応ソフトで、価格面、信頼性の面で良いものを教えてほしい。	答えにくい難しいご質問です。基本的には同じだと思います。選択基準の一つとしては、パターンファイルがいかに早く提供されるかにあります。各ソフトとも、その差は1日から数日だといわれています。また、価格の面では、「価格＝信頼性」とは言い切れないと思います。信頼性を知るには、ソフトメーカー会社そのものの信頼性をみるとよいと思います。また、その会社の検知能力(ワールドワイドの研究所の存在など)の点から判断するのもよいと思います。	和歌山
無料メールとはWebメールのことですか。	Webメールの他にも普通のメールソフトを使い受信できる無料メールがあります。	神奈川 (横浜)

質問	回答	開催地
無料メールアドレスを取得する場合、個人情報を入力しなければならない場合どうすればよいか。	メールアドレスを提供している会社が信用できるかよく調べてください。また、個人的意見ですが、住所をぼかして登録するのも一つの手かと思います。ウイルスメールや迷惑メールが多きた場合、そのメールアドレスを捨てて違うアドレスに変更しやすいという利点があります。友人との連絡用メールと、懸賞用のメールアドレスを使い分けてください。	神奈川 (横浜)
ウイルスワクチンについて、安いもの高いものの違いは。心配なのですが。	ウイルスの検知能力については、各社それほど差はないと思われます。ワクチンのアップデートの間隔や付加機能によって値段に差が出て来るかと思います。販売している会社のホームページをご覧になり購入の比較にさせていただきたいと思います。	神奈川 (横浜)
ウイルスを作る人、ワクチンを作る人の関係は？例えばウイルスとワクチンを作る人が同じ人という可能性は？	疑われる方もいらっしゃるかと思いますが、違います。その可能性はまずありません。	神奈川 (横浜)
プロバイダーのウイルスチェック等のサービスがあるが、それに入っていれさえすれば大丈夫か？	プロバイダーのサービスだけでは不十分であるため、ウイルス対策ソフトと併用が必要。そうすれば、安全対策は万全。	岡山
不審なメールが届いた際、開かずに削除フォルダーに入れているのだが、その操作で大丈夫だろうか。	OEのプレビュー機能を使っていなければ、削除フォルダーに移動後、削除フォルダーを空にすれば良い。	岡山
ワクチンソフトは必ず必要でしょうか。	必要です。ウイルスの侵入を目視、あるいは感覚だけに頼るのは困難です。新規に購入したパソコンをインターネットに繋いでから何分後にウイルス(ワーム)に感染するのか、というレポートがあります。去年は20分でしたが、今年はそれが4分となっています。それだけ、ウイルスが蔓延しているということです。ワクチンソフト購入のために、多少お金がかかりますが、心配をなくすためにも入れておくといよいでしょう。	北海道
ウイルスチェックソフトを購入する際の注意点は	購入しただけで安心せず 常に最新の情報を取得しておくこと、更新期限が切れたらきちんと買いなおすこと。	新潟
CD-ROM 上映にあった「メールに地図を添付して送って、ウイルスに感染した」というシチュエーションがよくわからなかったのですが...	あの場面は、地図を添付して送ったためにウイルス感染したのではなく、地図を送ったこととは別に、知り合いの方から送られてきた添付ファイル付のウイルスメールを開いたために感染した、というシチュエーションになります。データを添付して送ったからといって、本人が感染することはありません。	栃木

質問	回答	開催地
講演の中で図書館のパソコンにスパイウェアを仕掛けたケースをとり上げたが、スパイウェアのインストールにはどれくらいの時間がかかるのか。	15秒でセットできる。セットされたスパイウェアは個人情報や特定メールアドレスに送ったり、特定ファイルにストックする。一方、スパイウェアを発見したり、駆除するソフトも発売されている。或いは、不特定多数がパソコンを利用する環境において、利用者が代わってパソコンを立ち上げる都度、パソコンを最初の状態にリセットするソフトも出ている。	佐賀
新種ウイルスの出現スピードが加速しているのであれば、判別ワクチンが間に合わなくなるのではないですか。	これまで既に世の中には10万種のウイルスが現れています。経済産業省ではウイルスの統計を発表していますが、毎月40種以上のウイルスが出現しています。これに対してワクチンソフトメーカーは対応するワクチンを10時間以内に作って配布しているので、ワクチンソフトの自動更新を行えるよう設定しておけば、通常、問題は起こらないはずです。	高知
インターネットで電子部品を買ってユーザー登録したところ、登録先がウイルス感染して、登録した私の名前でウイルスメールが不特定多数に送信されてしまいました。受信者から苦情が私宛に届いたのですが、こうした事態に対処する方法はないのでしょうか。	感染メールを止める方法はありませんので、登録先に抗議し、謝罪文を公表させ、同時に二度と感染を引き起こさない対策を打つ様、促すことが必要です。また、結果的に加害者になった場合、登録に使用した自分のメールアドレスを変更することを強くお勧めします。	高知
プロバイダのウイルスチェックは、どの程度信頼したらよいでしょうか。	インターネットからの感染経路には2つあります。一つはE-mail、もう一つはホームページの閲覧時とダウンロード時です。プロバイダによっては、ウイルスチェックをE-mailに限っている場合もあるので、そのサービス内容を確認しておくことが大切です。	大阪 (PTA協議会)
体験学習の5番に、プレビューウィンドウを開いておかない方がよいとありました。プレビューウィンドウを閉じていたとしても、ウイルスメールを開いてしまったら感染してしまうことになり変わりがないと思いますが、...	ワクチンソフトを入れて、ウイルス定義ファイルを更新し、OS、アプリケーションを最新の状態にしていれば、プレビューウィンドウを開いても安心です。ただし、最近のウイルスには、ホームページを見ただけでも感染するものがありますが、メールにもホームページと同じ記述方式で書かれたメールで、htmlメールというものがあります。そのhtmlに悪さをするコードが埋め込まれている可能性があります。ご指摘のように、そういったメールは開いたら感染します。ただし、プレビューウィンドウを閉じていけば、メールの件名をみて怪しいものがあたら開かないで捨てることができます。「感染する可能性を減らす」という意味で、プレビューウィンドウは閉じておいた方がよいと思います。また、メールソフトの設定で、htmlメールでなく、「テキストメール」のみの受信を許可すれば安心だと思います。	大阪 (PTA協議会)

質問	回答	開催地
「不審なメールをもらったらずく削除すべきである」とのことだったが、私は返信してしまいました。今後どのように対策すべきでしょうか。	もし嫌がらせメールが増えるなどの影響があっても無視しておくのが妥当です。しかし金銭取引(架空請求)をうかがわせるようなメール等が届くようになったら、お近くの警察に相談して頂きたいと思います。	熊本
雑誌で、ウィルス等の影響によって海外のプロバイダに接続するようになってしまう話を読みました。もし同様な事象が発生したら、どのように対策すれば良いでしょうか。ハードディスクを消去すれば良いのでしょうか。	ホームページを閲覧していると、ウィルス等の影響で、気がつかないうちにそのようなダイヤルアップの設定に変更されている場合があります。これは「ダイヤルアップ接続」を使っているためなので、予防策としては、ダイヤルアップ以外の接続方法、例えば ADSL や光ファイバ接続を使うことによって、ダイヤルアップを無効にする方法があります。またそのような設定変更が行われていた場合には、「ネットワーク接続」のフォルダから、海外へのダイヤルアップを設定したアイコンを削除すれば解決できます。	熊本
体験学習の中で、知り合いからのメールであっても安心して添付メールを開いてはいけないと学びました。具体的な回避策を教えてください。	知り合いのメールアドレスではありながら、題名(Subject)がメール本文の内容とかみ合わなかったり、意味の通じない文章が書いてある、といったことが判断材料になります。知り合いからのメールであれば、これまで交わしていた「文脈」があるはずで、脈略もなく、いきなり意味の通らないメールや、身に覚えのないタイトルのメールは届かないと思います。やり取りしていたメールの内容まで偽装するような手口は今のところないので、メールの内容やタイトルで判断するのがよいと思います。	千葉
アンチ・ウイルスソフトを推薦して欲しい。	立場上、どのソフトが良いのか申しあげることにはできませんが、一般的には短時間でウイルスパターンを見分けることのできるワクチンメーカーの製品をお奨めします。しかし何よりもユーザーがパターンファイルをタイムリーに更新するのが効果的です。また、無料のワクチンよりも有料のワクチンの方が信頼が置けると思います。	愛媛
SPAM メールを避けるにはアドレスを変更するしかないのですか。	アドレスの変更は究極の対策ですが、今秋までに効果的な対策ソフトが発売される予定です。	愛媛
Mac コンピュータを使用していますが、自分と同じアドレスの発信者から迷惑メールが送られてきます。どう対応すればよいですか。	ウイルスであるネッスカイの仕業と思われる。送った先から広がったのでしょう。メールアドレスを変更するのも対応策です。また、専門家に相談して手元のメールを解析し、発信先を特定してもらう方法もあります。	愛媛

### 6.3 インターネットなどネットワークに関するもの

インターネットなどのネットワークに関する質問は、開催地数で正規化した後で 18.8%と激減している。質問内容もネットワークそのものに関するものよりは、セキュリティの設定や環境などに関する質問が多かった。既に、インターネットへはつなげばつながる状態になっているといえるだろう。

質問	回答	開催地
Yahoo サイトでセキュリティの設定をした ら、セキュリティは万全でしょうか。	その場合のセキュリティは Yahoo を使用する 範囲内でしか有効ではありません。例えば、 USB メモリーのやり取りで感染しても Yahoo は責任をとれません。常にワクチンを最新に し、いくつかの手段を選択、組み合わせて 対応することが大切です。また、セキュリティ の基本は、セキュリティ措置を提供するプロ バイダーがどこまで責任をとるのか、ユーザ ーが一つずつ確かめねばならないということ です。	島根
最近光ケーブルに変えたが、インターネット から国際電話に繋がらないようにするには どうすればよいか。	ダイヤルアップ方式であれば国際電話につ ながる可能性があるが、ADSL や光ケーブル ではその心配はない。	東京
1階ではデスクトップ、2階ではノートを無線 LANで使用している。使わないPCの電源 は切っておくようにとの説明があったが、2 階のノートでのみ利用の場合、1階のデス クトップの電源は落としておいても大丈夫 か？	無線LANとデスクトップの電源は別なので問 題はない。	大分 (大分)
無線 LAN を利用している場合、ファイル共 有さえしていなければ、外からのハッキン グを完全に防げるのでしょうか？	技術力をもっていない普通の人ならば侵入で きないはずですが、たとえば OS の脆弱性を 知っているような技術力が高い人には破られ る可能性があります。一旦、無線 LAN がつ ながってしまって同じ一つの環境になってし まったら、あらゆる手立てで侵入されます。 ファイルを破られない場合も、無線 LAN を経 由してインターネットにでてゆく可能性もあ りますから、無線 LAN を使う時には暗号化す ることも必要でしょう。	和歌山
電子町内会システムのセキュリティ対策で 何か気を付けることがあるか。	電子町内会システムが特別に気を付けるこ とはない。著作権・肖像権を侵害し たり誹謗・中傷等の掲示板への書き込みが 起きないように気を付けて下さい。	岡山
電子町内会システムで、会員ID・PWを個 人ではなくグループ単位に割り 振ろうと思うのだが良いか。	個人単位でないと、誰がシステムにログイン し掲示板等へ書き込んだか分から なくなるため良くない。	岡山
サイバーテロは個人には関係ないのでは ないか？	直接個人を攻撃することはないが踏み台にさ れる可能性があるのでセキュリティを強化す る必要がある。	大分 (日田)

質問	回答	開催地
<p>有名なインターネットプロバイダーが「インターネットが進むとプライバシーが無くなる」といっています。今後はどう対応すればよいのでしょうか。</p>	<p>他人の個人情報を取得しようとする者に対して、それを防ぐための施策・対策がこれまでも種々とられてきています。この4月から施行される個人情報保護法もそれです。各個人もHPなどにみだりに個人情報を書き込まないなどの注意が必要で、プライバシーが無くなることのないよう、社会も個人も努力する必要があるといえます。</p>	<p>高知</p>
<p>無線LANルータを使って常時接続しています。パソコンを使っていない時でもルータのランプが点滅するときがありますが、これは侵入されているということなのでしょうか。</p>	<p>あるデータ(パケット)が断続的に届いていることを意味しています。WEP キー等を使って暗号化の設定を済ませているのであれば、インターネット側から攻撃パケットが偶発的に届いたり、接続回線の活性状態を示すパケットをやり取りしているなどの状態が考えられます。気にしなくても良い範疇と考えますが、もしも気になるのであれば、常時接続とせずに、こまめに切断することをお勧めします。</p>	<p>熊本</p>
<p>体験学習の2番についての質問です。ルーターが激しく点滅した場合はケーブルを抜きなさいと言われましたが、自宅のパソコンにはウイルス対策ソフト(ノートン)が入っています。対策ソフトを導入していても、そういう事態は起こりうるのでしょうか。自宅ではADSL回線を引いていますが、ADSLランプが点滅していることはよくあります。点滅しているのは、メールを読み込んでいる状態であると理解していましたが、。。</p>	<p>コードを抜く必要があるのは、全くパソコンを使っていない、通信していないのに、ADSLランプが激しく点滅している場合です。ウイルス対策ソフトが入っていれば、メールからの侵入は問題ないと思いますが、インターネットを閲覧しただけでもウイルスに感染することがあります。回避策としては、パソコンのハードディスクを総点検する「ディスクスキャン」を定期的に行うのがよいと思います。ディスクスキャン機能は、ほとんどのウイルス対策ソフトに備わっています。パソコンにウイルスがあれば検知してくれます。ウイルスが検知されないのに、ランプが点滅した場合は、別のパソコンにウイルスを感染させようという兆候ですから、怪しいと疑ってコードを抜いていただくとういと思います。メールからのウイルスチェックも万全で、ディスクスキャンも定期的にかけているので安心だと思っても、次の定期ディスクスキャンまでの間にウイルスが侵入してしまった為に、ランプが激しく点滅している可能性もあるので、注意してください。</p>	<p>千葉</p>

## 6.4 電子商取引や架空請求、詐欺などに関するもの

電子商取引関係の質問は、昨年度に比べて補正值で 172.5%と大幅に増加している。架空請求や詐欺まがいの事例がそれだけ増えてきて、一般の関心を引いているのだろう。これは技術的な対応策も考えられてはいるが、根本的には騙しのテクニックであるので、相手が人間であるがゆえに問題になるといえる。最近プロの詐欺専門家が仕事をし始めている節がある。詐欺師からは新しい商売の場としてインターネット環境を捉えているに違いない。人間の心理や弱さ、思い込みなどの機微を付いてくるので、意識的に疑ってかからないとついその気にさせられてしまう。これは今までもあった現象であるが、新しい「場」でも現れてきたということだろう。現時点で防ぐ一番の方法は、手口を広く公開して注意を促すことだろう。手口を公開することによる類似犯罪の発生より、知らないで騙されてしまうことを防ぐことの方が先決だという意見には説得力がある。

質問	回答	開催地
高額請求、広告迷惑メールの取締りはできないのか。	警察は取締りのために、いろいろな対策をたて努力している。実際に被害にあってしまったときは、最寄りの警察署、もしくは警視庁のサイバー犯罪対策課まで連絡を。	東京
ネットショップ、ネットオークションの危険をどのように回避したらよいか。	ネット上で売買の取引をするときには、以下の点に留意して対応してほしい。そのサイトの運営会社とは別に、取引相手がよく知られた会社であるのか確かめる。暗号/個人情報の入力にあたっては、個人情報取扱いに関する取引相手企業のポリシーを確認する。信頼の置ける第三者を介した取引であるエスクローサービスの活用を考える。Yahoo オークションなどのサイトでは、過去に取引をした第三者が相手の評価を行うシステムがある。それらの経歴を参照するのも良い。( を行った上でも)ネットオークションでは、正直な取引を何回か行ってから、詐欺を働くケースも発生している。高額取引を行う場合は特に気をつけること。	東京
ホームページを見るときは、「ベリサイン」マークがあるかどうかを1つの目安としているが、その点はどうか?	ベリサインマークは、ウェブとブラウザ間の通信の暗号化を実現している、という証明になっているのでよいと思います。ベリサイン以外では、セコムや帝国データバンクなども同様の認証サービスを行っています。	兵庫
(安全教室で配布された)アンケートの最後にメールアドレスを記載する欄があるが使用目的は?	アンケートに質問などを書いてもらったときに、その返答をメールで送っています。必須項目ではないので、無記入でも問題ありません。	神奈川 (横須賀)

質問	回答	開催地
テレビ番組で「おれおれ詐欺」の手口を見た。架空請求でも判所から「督促状」が来たら無視せず対応しろ、といていた。無視すべきか、対応するかの見極めはどうすれば良いのか。	架空請求には無視が基本だが、詐欺の犯罪者が少額訴訟制度を利用して裁判所から「督促状」を送らせる場合は、これを無視して裁判に欠席すると、請求を認めたことになる。裁判所からこの種の文書を受け取ったら、まず、自分で電話帳で裁判所の電話番号を調べて、電話し、訴訟の事実を確認する必要がある。	愛知
「フィッシング詐欺のお話の中で、Webサイトのアドレスを上書きしているような悪質な手口がある」とご説明されていたが、その意味がよくわかりません。	どのホームページを閲覧しているかは、ブラウザのアドレスバーを確認します。フィッシング詐欺の場合、これまでの手口では、アドレスの記述が1、2文字違う程度でしたが、最近では、そこすら見分けがつかない巧妙な手口があります。Webサイトに誘導する主な手立ては、メールです。個人情報の提供を求めるようなメールは、まず怪しいと思ってよいでしょう。カード会社やクレジット会社からそのようなメールが届いた場合は、まずカードの裏にある電話番号に電話して、確認するのが確実です。	和歌山
架空請求を未然に防ぐことは不可能なのか？	今の日本の法律・仕組みでは、方法はない。	大阪 (ヒューマンアカデミー)
学校の子供達に、インターネットの良いページを見せたくないのだが、何かの方法はないか？	現段階では不可能であり、モラルや学校内の教育(講師出張等)を、行なうことが最も最善と思われる。	大阪 (ヒューマンアカデミー)
浦添市内で検挙された事例があればお聞きしたい。	浦添市内では最近はないが、宜野湾市内で著作権法違反や詐欺等で検挙された事例がある。昨年嘉手納市内のある会社で、トラブルがあって辞めた従業員が会社で使っていたIDとPASSWORDを使って、自宅からインターネットにアクセスしていた事例がある。このように県内でも身近にサイバー犯罪は起きている。	沖縄
会社で取引先一覧表を管理しているが、個人情報の点で何か気をつけたいいけない事がありましたら、アドバイスを頂きたい。	個人情報保護法が来年4月1日から完全施行されます。それ以降は、5,000人以上の個人情報取り扱っている事業者は、個人情報取扱事業者となり法に基づいた取扱、(どういう個人情報を持っているかチェックする等)をする必要がある。 会社で個人情報を扱っているなら、個人情報を社員が社外に持ち出さないような社内教育も大事となる。5,000人以上の個人情報を取り扱っていないなくても、今のうちからしっかり取扱いしていた方がいい。	沖縄

質問	回答	開催地
仕事柄ネットカフェでメール等を確認する事が多く、その際履歴やID等を消すようにしている。それ以外に安易にデータを消せる方法があれば教えて頂きたい。	ネットカフェの場合、一番大事なことは一人一人使い終わった後にパソコンを初期状態に戻す事です。安易に初期状態に戻せるソフトが1万円くらいでWeb上で市販されています。そういうソフトを導入し、一人一人使い終わった後に元に戻すといった使い方をした方が良い。 最近ではネットカフェを使った犯罪が非常に増えている。お店によっては誰でも身分確認なしで入れてしまう。そういう状態では、いたずらや詐欺の書込みといった事件が増えてしまうので、県警としてはぜひお客さんの身分確認をやって頂きたい。	沖縄
今後出てきそうな問題があれば教えていただきたい。	フィッシング詐欺のように手口が進化しているので予測はしにくい。気を付けて頂きたいのは不用意に個人情報を入力しない事、入力前に一旦考えること、記録に取っておく事です。事例や対処方法などの情報は県警や警察庁のホームページでも発信していますので、参考してください。	沖縄
プロバイダーのウィルスチェック等のサービスがあるが、それに入っていれば大丈夫か？	プロバイダーのサービスだけでは不十分であるため、ウィルス対策ソフトと併用が必要。そうすれば、安全対策は万全。	岡山
仮に、クレジットカードIDとパスワードが盗まれてしまって、損害を被ってしまった場合、どう対処すればよいのか。誰かがその損害を補償してくれるのか。	クレジット会社と相談するしかないと思います。損害金の返金に応じてくれる場合もあるかもしれませんが。たとえば、インターネットカフェのPCで、IDパスワードを盗まれたと分かった場合は、そのインターネットカフェのセキュリティの脆弱性が問われる場合もあると思いますが、実際その判例はまだありません。犯人がつかまった場合は、犯人に対して民事訴訟を起こすことになります。	青森
押し貸しについてどのように対応すればよいのか	一切手をつけないことが重要です。	新潟
例えば悪いコンテンツ(例えば猥褻画像)を公開している犯罪者が外国人だった場合、日本の法律で取り締まりは可能なのか？	犯罪の場合、「現場」という考え方が基本となっており、インターネット犯罪の場合、現場は悪いコンテンツが保存されているコンピューターがある場所になります。例えば、猥褻画像を公開している人がヨーロッパにいて、見ている人が日本、その猥褻画像をおいているサーバーがアメリカにあるとすると、犯罪の現場はアメリカということになり、アメリカの法律での取り締まりは可能ですが、日本の法律では取り締まることができません。	栃木
裁判所の「少額訴訟制度」を利用した架空請求詐欺のお話がありましたが、裁判所は、実際に葉書で請求を出すことがあるのでしょうか？	裁判所は受取り確認が必要な郵送方法をとります。本人の不在時にポストに投函されることはありません。また、必ず宛名個人の情報が記載されているはずですので、そこもきちんと確認することが重要です。	栃木

質問	回答	開催地
(前質問に続いて)銀行等からの連絡の場合、封印等、内容が外から見られないような配慮が施されていますが、裁判所からの場合はどうなっているのでしょうか？	現物を見たことがないので、郵送物の体裁はわかりません。	栃木
体験学習の問6に関連する質問です。Webサイトの利用料金については、プロバイダから直接請求されることはないと聞いたのですが、その点いかがでしょうか。	利用請求の行為自体は、プロバイダではなく、実際に利用したサイト運営者からの請求という可能性もあり、支払いが必要な場合もあります。また、サイト運営者があるプロバイダの下で有料のサイトを運営していれば、プロバイダから請求があることも考えられます。そのため、サイトの規則をよく読むことが大切です。	栃木
ノートパソコンを利用しているが、処分の仕方を教えてほしい？	ノートパソコンが起動するのであればデータを削除するソフトウェアがあるのでそれで削除する。起動しないのであれば物理的に破壊する方法があるが、破片が飛び散り危険なので業者に依頼し破壊してもらう方が良いと思われる。	大分 (日田)
府警の方が、2チャンネルへの悪質な書き込みが実刑までに至ったケースをご紹介されました。そのようなケースでは、実際どのような方法で追跡されるのでしょうか？ また、警察に告げが出てはじめて捜査されるのですか？	実際の追跡方法については、公開できません。当然ながら追跡技術は持っていますが、捜査に影響を及ぼすので言えません。また、警察は告げを受理したら捜査を開始する決まりになっています。	大阪 (PTA協議会)
ワンクリックだけで有料サイトに登録してしまった場合の対処法について教えてください。	これは警察の話ではなく民事の話になります。ワンクリックした時の状況を思い出してください。本人にその意思があったのか、あるいは誤って登録してしまったのが争点となります。まず消費者センターに相談されるのがよいと思います。	大阪 (PTA協議会)

## 6.5 その他、イベント内容に関するものなど

今年度は、いくつかイベントの内容は情報の利用についての質問があったので、これらをその他としてまとめた。まだ 28 箇所です。7 件と多くはないが、身近なところでインターネット安全教室の情報を利用したいという希望は、昨年度より確実に強くなっていると感じた。まだまだもう少しの間、このような活動の意義と実践が必要なのだろう。

質問	回答	開催地
当方のリンク集に JNSA を加えたいのですが、よろしいでしょうか？	結構です。ぜひご利用ください。JNSA のホームページが色々なところで活用されていることがわかると当方としても嬉しいので、リンクされた場合はご一報いただければと思います。	兵庫
家庭内でセキュリティについて分からないときはどこに相談すれば良いのか。公的機関で対応してくれるところはあるのか。	警察には情報セキュリティアドバイザーがいるので、問い合わせてくれれば、必要最少限のアドバイスはできる。電話またはメールで問い合わせて欲しい。	愛知
体験学習がすごくわかりやすく、今日来ていない人にも教えたいのだが、扱ったコンテンツはどこかで手に入れられるのか。	お配りした冊子に付属の CD-ROM に入っています。同封されている紙に書いてある手順に従って開いてください。	岐阜
大阪府警のスライドなどを、学校の授業で使いたいのですが頂けないか？	積極的に配布はしていないので、「@Police」などを参照してほしい。	大阪 (ヒューマンアカデミー)
県警が学校や PTA の要請で行う講習会の開催スケジュールとその申し込み窓口を知りたい。	教育機関から要請があればできるだけ対応しているが、事前に決めた開催スケジュールではない。県警のハイテク犯罪対策係りが申し込み窓口となる。	佐賀
「インターネット安全教室」テキスト添付の CD-ROM は、パソコンのどの部分に挿入すればよいのでしょうか。	ノートパソコンであれば、側面もしくは前面に挿入口があります。	高知
インターネット安全教室は子供たち向け開催されていますか？	基本的には一般社会人向けのプログラムとなっていますが、昨年開催した東京足立区では、小中学校 PTA が中心となりました。それがきっかけとなって、学校開催の要望も高まりつつあります。現在、文科省とその可能性を検討しているところです。	大阪 (PTA 協議会)

## 7. まとめ

情報セキュリティに関する基礎知識を学習することを目的としたセミナー「インターネット安全教室」の開催も2年目を終了することが出来た。全国 28 カ所の自治体・団体にご協力いただき、その他、警察庁、各地県警、放送局・新聞社・教育機関等の後援を得て、2004年10月～2005年3月にかけて開催した。

来場者数は、延べ 3,581 名と昨年度の 2,069 名に比べて 1.73 倍となっている。開催地数が 11 箇所から 28 箇所に 2.55 倍となったのと比べると、来場者数の伸びが少ないように感じるが、昨年度は沖縄のように 1,000 名規模の会場があったので、この影響を差し引くとほぼ同程度の規模であったといえる。今年度は、開催県によっては複数の開催地があるところや、自主開催県も増えてきて、当初の啓発活動の目的は定着してきたと言ってよいだろう。

「インターネット安全教室」の実際に行ってみて、改めてエンドユーザの啓発やリテラシー向上のための活動が必要なることを実感した。インターネットで起こっている問題点にはいくつかのパターンがある。

- Windows など OS やソフトウェアの脆弱性に関わる問題点
- 架空請求や振り込め詐欺、フィッシングなどの人間の心理的弱点を突くもの
- 個人情報漏洩など情報のやり取りに関わる管理責任に関するもの

これらはいずれも、技術的な課題であるとともに、運用管理面でもきちんとした対策をとる事が求められている。今までの社会生活で伝えられてきた知恵が役に立つはずであるが、パソコンやネットワークを使っていることによる、目に見えない不安や仕掛けが分からない不安から、必要以上に特殊なことだと思われる節もある。法律の抜け道があることも大きな問題だが、身近な問題として考えることも大切であろう。

インターネットを基盤とした高度ネットワーク情報社会を構築してゆく上で、一般ユーザのリテラシー向上が重要なテーマとなるが、このリテラシー向上の方策のひとつとして、「インターネット安全教室」のような草の根の活動を基本としながら、全国で統一感のある運動が有効であることを確認でき、また結果を残せたのは大きな成果であった。

「インターネット安全教室」は、高度ネットワーク情報社会を生きてゆくための知識やルールを伝達する場であり、この活動はそのモデルを提示し、これを参考として、全国に同様の活動が拡大することを狙っている。その結果として、一般のユーザは高度ネットワーク社会の利便性と危険性を認識し、新しい社会に適応した習慣を身につけると考えている。しかしながら、安全教室が目指す適応性を会得したとしても、Windows に代表されるセキュリティパッチなどの情報がタイムリーに伝達され、かつ、適切に実行される仕組みを作る事が今後の大きな課題として残る。また、製品に関する対策のみではなく、今後は、フィッシングサイトの出現や、IT 技術を駆使した様々な悪質な行為が行われる可能性があり、これらの悪質な行為はインターネットの高速性とブロードキャスト性(一斉通信性)を最大限利用したものになると予想される。これらの行為に対抗するために、インターネット安全教室をフォローする活動も必要となろう。

来年度は、色々な課題を意識しながら、全都道府県での開催を目標に、コンテンツの見直しを始めとする実施内容と体制を拡充していきたいと考えている。このような活動は、地道に定期的に続けていく事が何よりも大切である。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。